



## はやきた子ども園民営化が始まります

# 「子どもが育つまち」をつくる

はやきた子ども園の運営事業者として応募した学校法人リズム学園の趣意です。

『子どもを育てるといふ営為は、園が保護者や地域と協同しながら、まち全体で子どもを育てる場所をつくる努力であり、安平町は

①放課後児童クラブ、発達支援、子育て支援センターが一体施設にある。  
②子ども園の所管が教育委員会に属し、学校教育と子ども行政が一元化、連携できる。

③地域に一つしかないため、地域の子育て・教育がまちづくりと密接している。

環境にあり、町と地域が一体となった教育実践を通して、リズム学園の教育理念を具現化できる環境にある』

という理由で応募されました。

安平町も、まち・ひと・しごと・創生総合戦略を策定し、子育て世代に選ばれる町をつくり、定住対策に取り組む政策と合致し、安平町の自然を活かし、地域を活かし、町を活かした他にはない認定こども園が運営される期待感を持ちました。

折しも、子育て支援に関わるサービスメニューが様変わりする「子ども・子育て関連法」が平成27年4月1日から施行され、公私連携という形での民営化が実現しました。



## 「民営化の起点」

早来地区のへき地保育所3園を統合し、それまで取り組めなかった幼児教育や給食を導入した「幼保連携型認定こども園」を平成22年度に開園しました。

しかし、「へき地保育所から何も変わらない。」「せっかく慣れてもすぐに先生が変わる。」という声が届きます。

毎年、保育士を募集しても充足せず、人探しに時間を費やすため、雇用環境の安定を図るために構造改革特別区域の申請をし、雇用期間の延長や給与を見直すなどの手立てをしてきました。また、幼児教育の推進のための研修も増やしましたが思うような成果が上がらず、国からは保育士の正規職員化の指導があるなど、なかなか課題解決に至りませんでした。

公共事業の民間活用は、総合計画にも掲げ、認定こども園の民営化は追分地区のこども園化も踏まえて平成24年度より検討を始め、体験型教育の導入など特色ある幼児教育の推進やタイムリーな子育てサービスの提供、財政の健全化などを目的としたはやきた子ども園の民営化を進めました。